

# 第156回 定時株主総会



東リ株式会社

2020年 6月 24日 午前10時

於：伊丹本社集会室

# 第156期 事業年度 監査報告

# 第156期 事業報告および 連結計算書類の内容報告

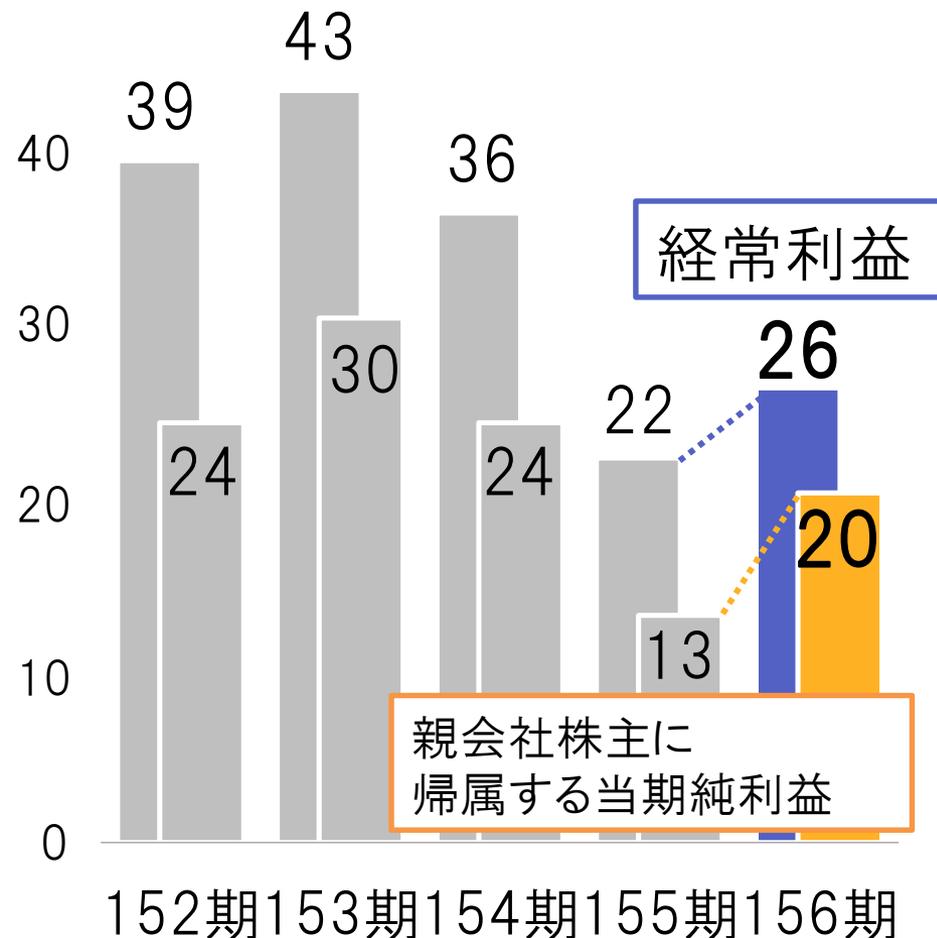
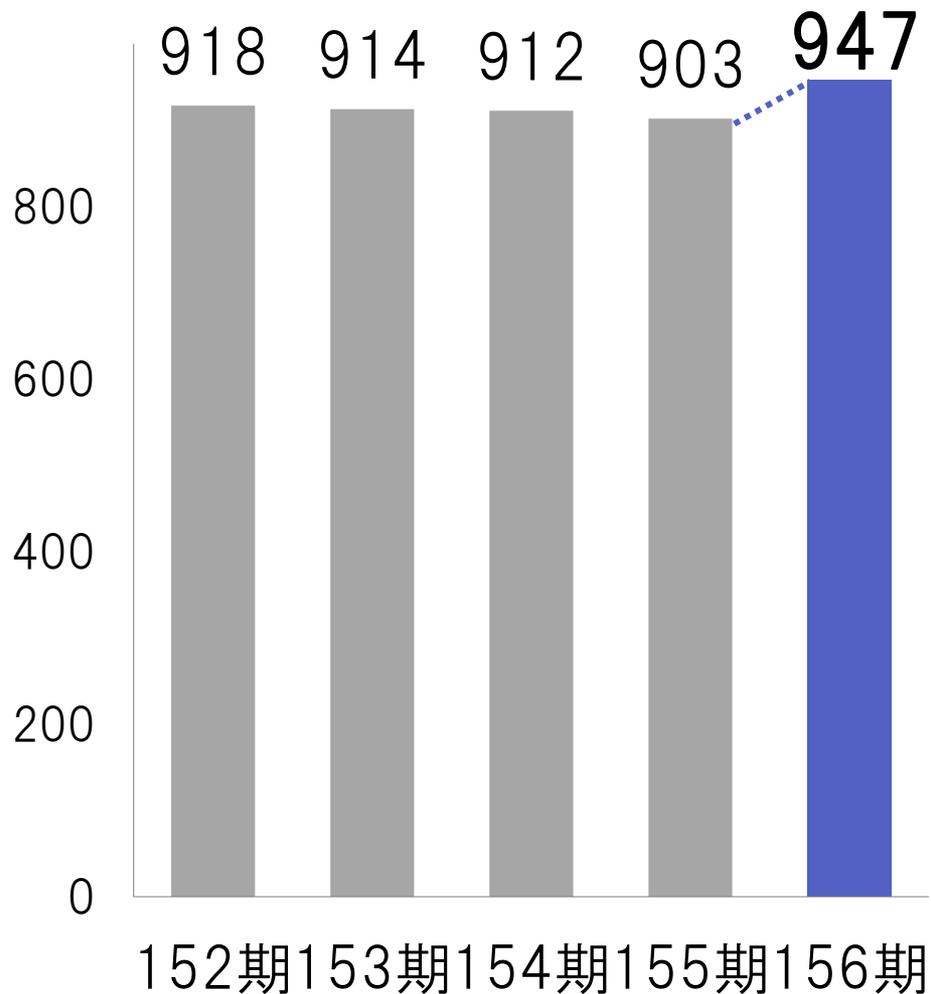
# (連結)事業の経過および成果

## ■売上高の推移

(億円)

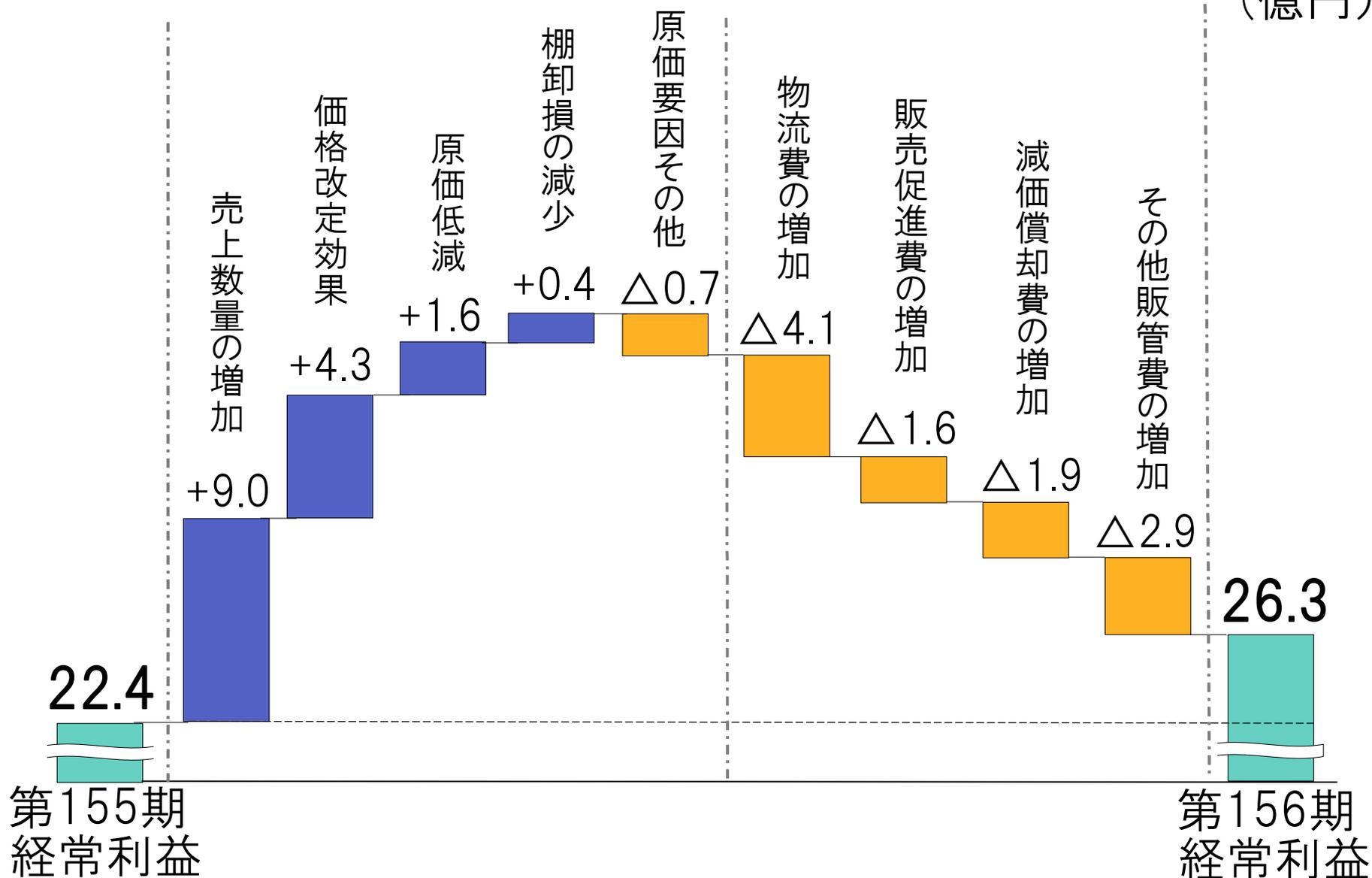
## ■利益の推移

(億円)



# (連結)経常利益の主な増減要因

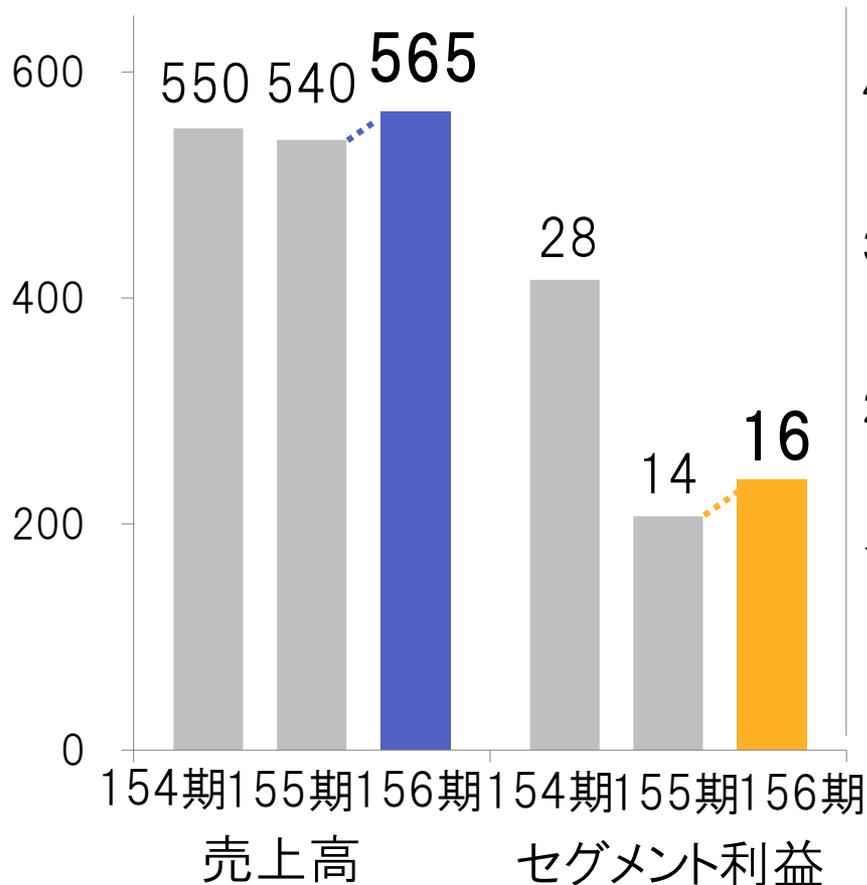
(億円)



# (連結)セグメント別実績

## ■プロダクト事業

(億円)

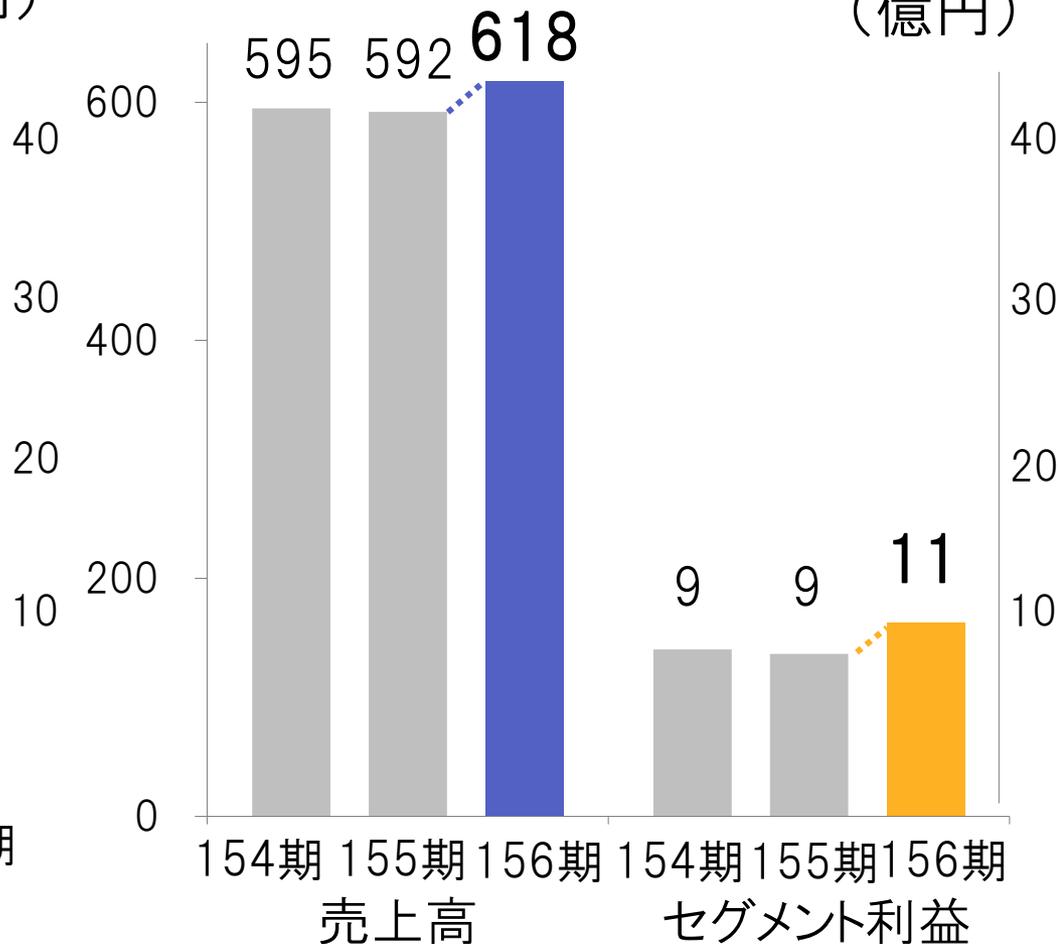


＜プロダクト事業＞

塩ビ床材やカーペット、カーテン、壁装材等のインテリア製品の製造と、それに関連する内装材のメンテナンス及び製商品の在庫管理・配送等のサービス業務

## ■インテリア卸及び工事事業

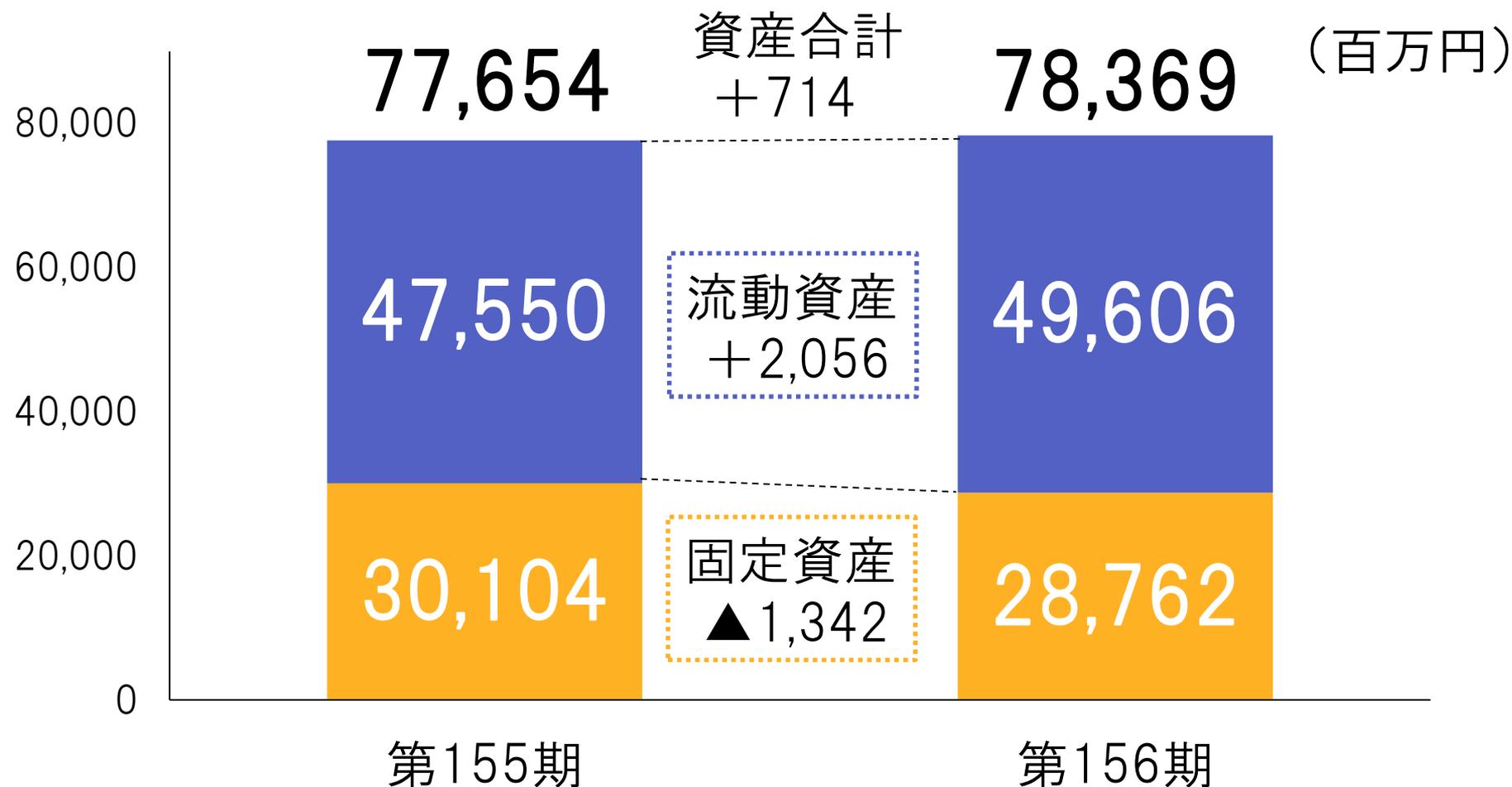
(億円)



＜インテリア卸及び工事事業＞

インテリア関連商材の仕入販売及び内装工事等

# (連結)資産の部



## 【流動資産】

- ・現金及び預金
- ・棚卸資産

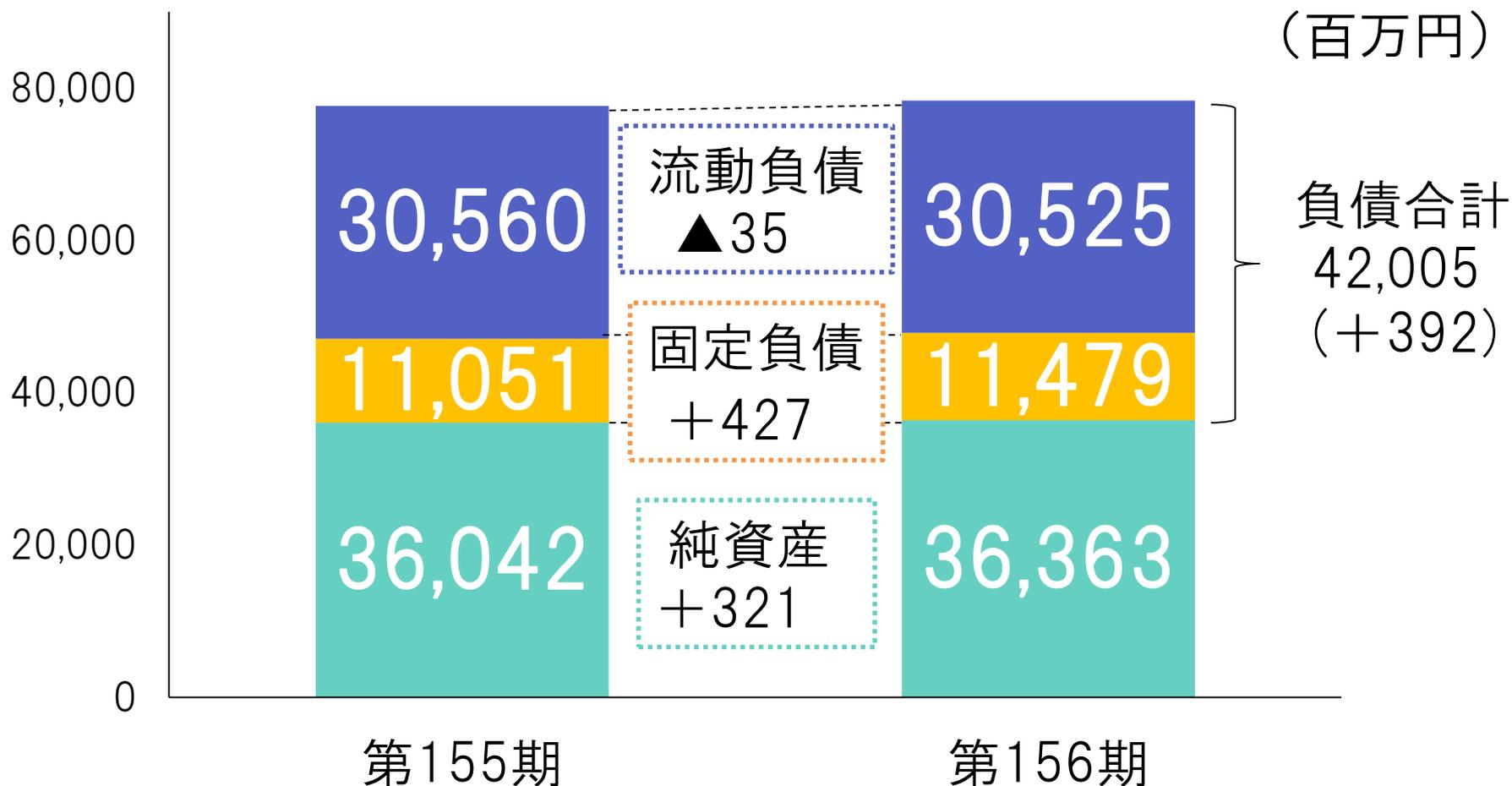
+2,406  
+71

## 【固定資産】

- ・投資有価証券
- ・土地

▲950  
▲536

# (連結)負債の部・純資産の部



## 【流動負債・固定負債】

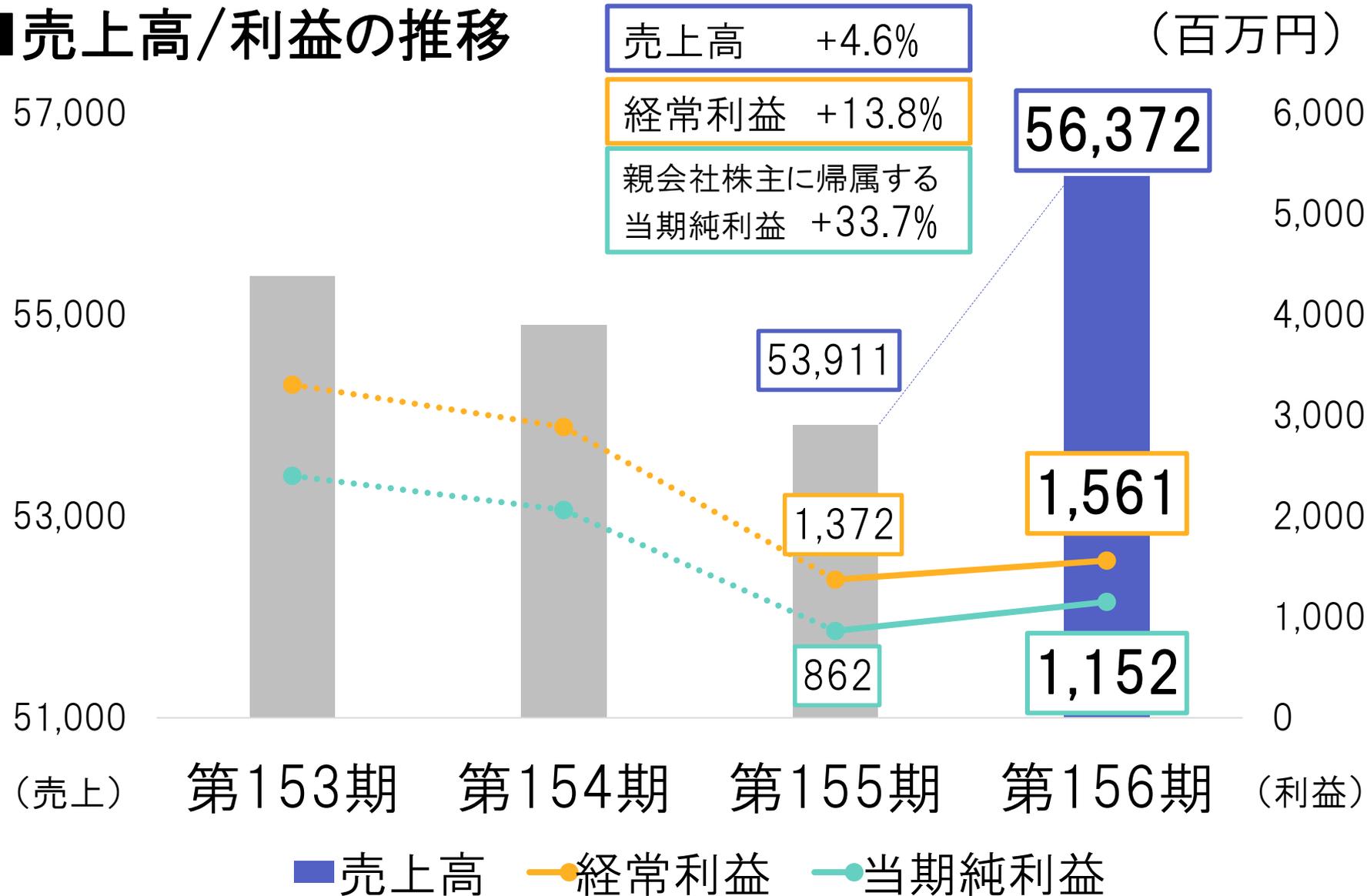
- ・短期借入金 ▲400
- ・未払法人税等 +413
- ・長期借入金 +400

## 【純資産】

- ・利益剰余金 +1,257
- ・その他有価証券評価差額金 ▲672
- ・自己株式 ▲149

# (単体)事業の経過および成果

## ■売上高/利益の推移



# 対処すべき課題①

(2020年度の重点課題)

## 『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015-17年度 / フェーズⅡ：2018-20年度)

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

# 中期経営計画『SHINKA-100』

## ■重点戦略

3つの「SHINKA」を重点戦略に掲げ、技術力・販売力・事業基盤の強化を推進

①「進化」～コア事業の進展と創造～

②「深化」～深掘りによる成長性の追求～

③「真価」～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

## ■スケジュール

中期経営計画『SHINKA-100』（6カ年）

フェーズⅠ（3カ年）

フェーズⅡ（3カ年）

2015  
年度

2016  
年度

2017  
年度

2018  
年度

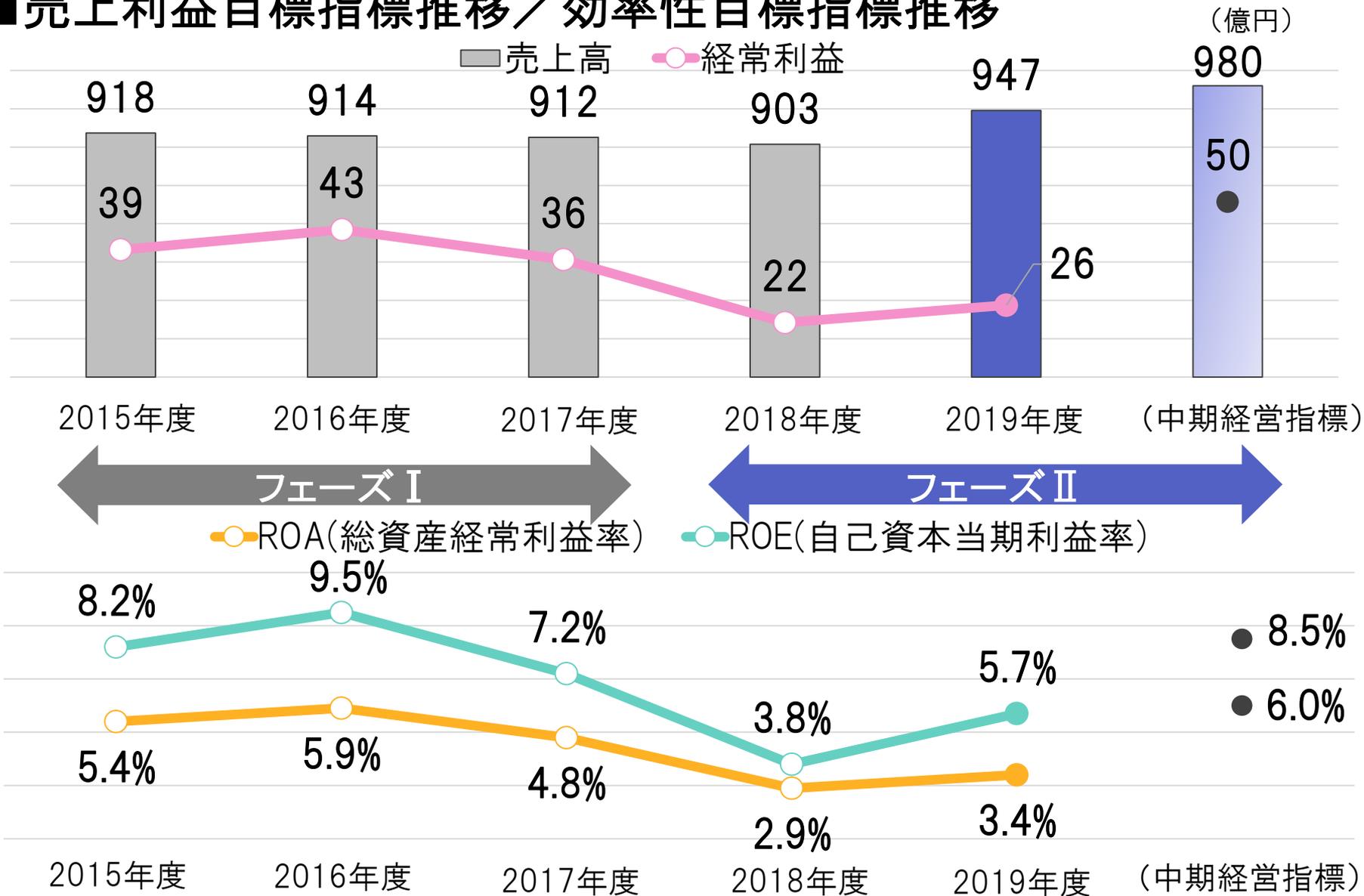
2019  
年度

2020  
年度

『創業百年』中期経営計画  
最終年度

# 中期経営計画『SHINKA-100』（連結経営指標）

## ■売上利益目標指標推移／効率性目標指標推移



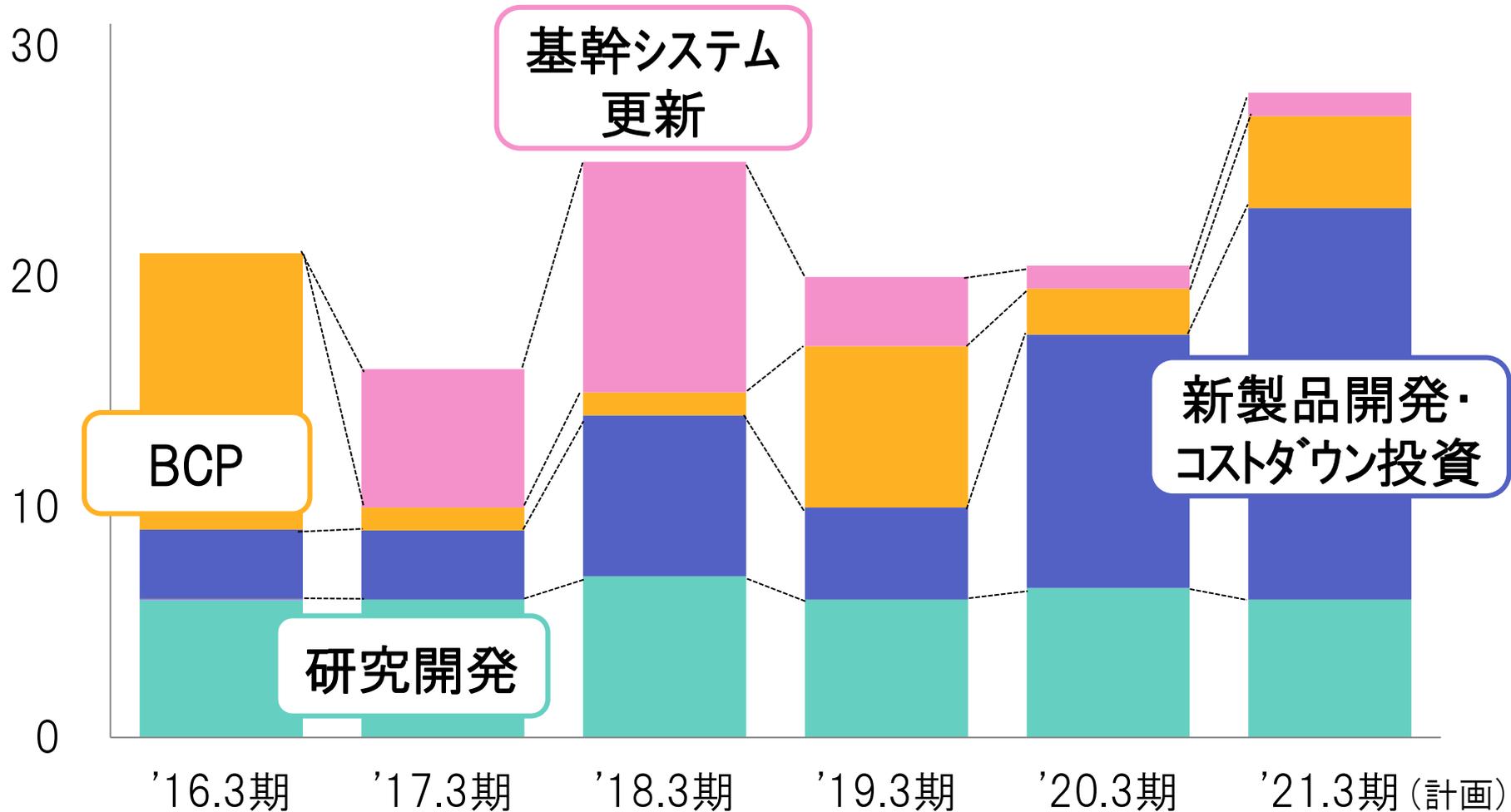
# 中期経営計画『SHINKA-100』（連結業績見通し）

	2020年3月期	2021年3月期 (百万円)			
		通期	上期見通し		通期見通し
				前年比 (%)	
売上高	94,701	40,000	△9.0	89,000	△6.0
営業利益	2,382	△200	—	1,900	△20.3
経常利益	2,639	△100	—	2,050	△22.3
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,059	△100	—	1,350	△34.4

新型コロナウイルス感染症の影響については、第2四半期までは工事遅延による納材の後ろ倒し等を含めて市場環境悪化による減収を見込み、第3四半期以降は段階的に回復するものと仮定し、2021年3月期の見通しを策定しております。

# 中期経営計画『SHINKA-100』(戦略的設備投資)

(億円)



戦略的設備投資・・製品開発及び製造原価低減に寄与する研究開発、業務効率化のためのITシステム開発等、持続的な成長に向けた戦略的な設備投資

## ■ 主な取り組み課題

- コア事業の成長に向けた技術開発
- 地球環境保全に向けた取り組み
- CR(コーポレートリレーション)活動の強化
- 10億円プロジェクトの推進
- 「TOLIワークスタイル」の推進
- 製造原価低減活動の推進

### 想定されるリスク

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大(事業インフラの整備)
- ◆ 原材料価格の変動
- ◆ 化学物質規制の強化
- ◆ 物流コストの上昇
- ◆ 原材料調達環境の変化

# 対処すべき課題②

(中・長期的な重点課題)

## 『百年の先』に向けて

コア事業の  
更なる進化

真のグロー  
バル化

社会貢献  
目標

次期中期経営計画  
の策定

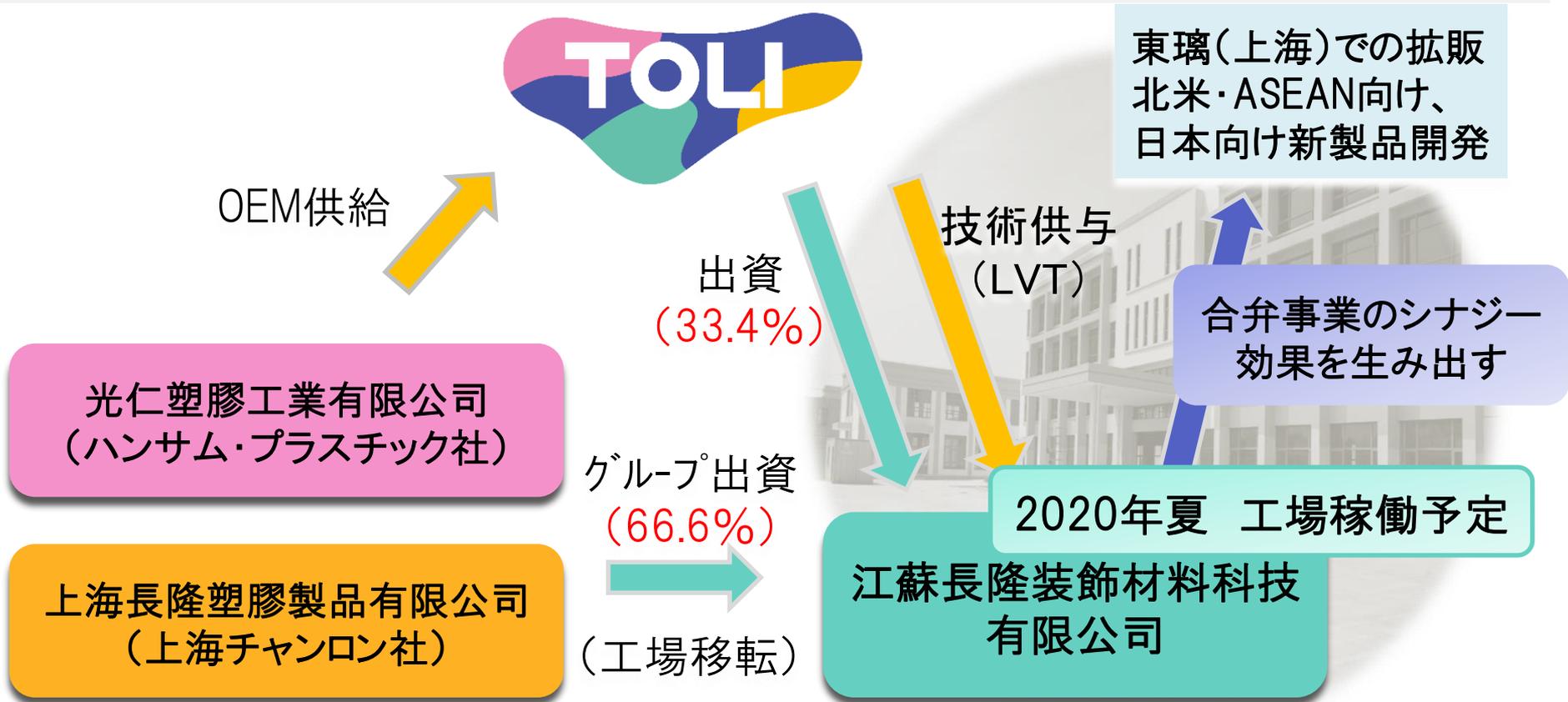
10年先(創業110年目)のビジョンを描き、中・長期的な重点課題を中心とするグループ戦略を社会貢献目標にも結びつけ、さらなる企業価値の向上を目指す。

# 中・長期的な取り組み-1

## 1 グローバル体制の推進

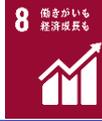
### 中国(江蘇省)におけるビニル床タイル事業の合併契約

LVT※の海外生産体制を強化し、グローバル市場における「JAPAN TOLI」ブランドのポジションを高める ※「Luxury Vinyl Tile」の略で、日本では複層ビニル床タイルと呼びます



# 中・長期的な取り組み-2

## 2 川上技術の取り込みによる製品開発力強化



### ナイロン原糸の紡糸工程を一部内製化

外注調達であったタイルカーペットの原糸の一部内製化に着手し、製品開発力強化を実現する



川上技術の取り込み

製品開発力の強化

将来的な原材料調達リスクの軽減

# 中・長期的な取り組み-3

## 3 さらに環境負荷低減へ



### タイルカーペットの新リサイクルバッキング

タイルカーペットを製造する際に生じる端材や廃材の全量リサイクルを目指す



新たなリサイクルチップ  
技術の導入

産業廃棄物を大幅に削減

ゼロエミッションの実現

製造原価低減

環境対応力の強化

# 議 案 審 議

# 第1号議案 「剰余金の処分の件」

(1) 配当財産の種類 : 金銭

(2) 1株当たり配当額 : 8円

配当の総額 : 489,501,168円

※中間配当金5円(うち、普通配当2円、記念配当3円)を含め、  
年間配当金は1株につき13円

(3) 効力発生日 : 2020年6月25日

## 取締役候補者

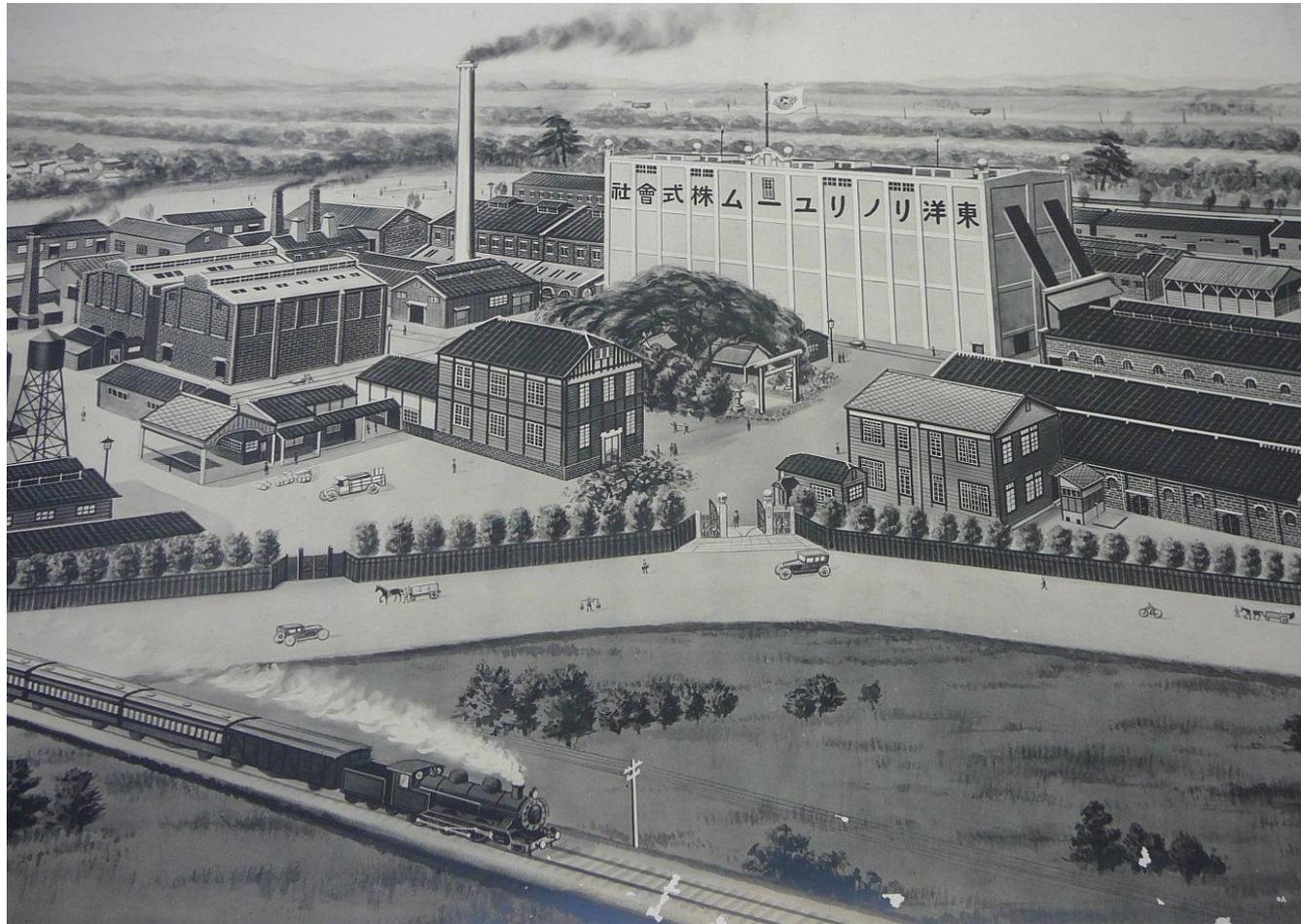
永嶋 元博

橋本 昌幸

横田 絵理



# 第156回 定時株主総会



ありがとうございました

## 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。